

2019年2月1～3日 四日市東日本大震災支援の会 第63回派遣 熊本県西原村仮設住宅サロン活動 活動報告

2019年2月24日

四日市東日本大震災支援の会 代表 鬼頭浩文(四日市大学教員)

われわれ支援の会は、熊本県西原村において、2016年5・7・9・11月、2017年3・5・7・9・11月、2018年2・3・5・6・9・11月に、避難所支援、村内見守り活動、仮設住宅でのサロン活動などの緊急救援・生活支援・復興支援活動を行ってきた。2018年8月に災害公営住宅への入居が始まり、約70世帯が新しく建設された災害公営住宅に引っ越し、仮設住宅から退去された。仮設住宅は空室が目立つようになってきているため、全世帯を対象にし、D棟でお茶会を開催し、子供たちはB棟に集めて一緒に遊ぶことにした。

<活動概要>

■西原村仮設住宅でのお茶会&足浴交流会

(D棟集会所でお茶会、B棟で子供交流会)

<参加費>

大学生13,000円(学生スタッフ6,000円、ドライバー0円)

★活動日の昼食・夕食を支給(その他の食事は各自負担)

★宿泊(素泊まり);熊本県山鹿市山鹿1838「旅館巳喜(みき)」電話0968-43-5178

<スケジュール概要>

★2月1日(金)

20:30 四日市大学9号館集合

21:00 四日市大学出発(四日市大学バス停裏の職員駐車場)

★2月2日(土)

09:00頃;西原村仮設住宅到着

10:00~16:00 ボランティア⇒萌の里で復興まつり手伝い⇒旅館巳喜 入浴&宿泊(夕食は旅館で支給)

★2月3日(日)

6:30 旅館出発 帰路 ⇒ 18:00 大学帰着





萌えの里で開催された復興まつり「冬あかり」



30人ほどの西原村の住人やボランティアで転倒いや点灯作業



急斜面に置かれた中学生が制作した灯籠に火を灯していく